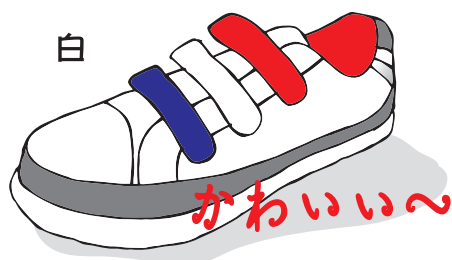


新製品

JSAA A種合格品  
履いて楽しい  
三本マジック



白

かわいい〜

最近では、しばらくスニーカータイプの安全作業靴を作っていませんでした。  
JSAAのA種合格品です。同封チラシをご覧ください。カラーは黒基調と白基調です。サイズはS〜3Lの5サイズ。小さなサイズからありますので女の人も対象になると思います。

Y7005 マジック

新製品

「コレはいいー!」  
「のばお」も含め、当社従業員のみんなが絶賛する靴下です。履き心地が違います。商品価値が高く、自分から履きたいと思う靴下です。かつての「かわら版」245号でサポーター部分がグレーのタイプをご紹介します。

Y7005 マジック



黒

ステキ〜

クールマックス靴下

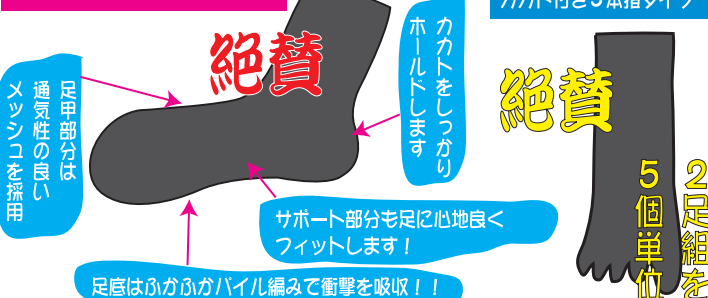
S	M	L	LL	3L
23.5~24.0	24.5~25.0	25.5~26.0	26.5~27.0	27.5~28.0

# のばのほかわら版

発行者 (株)のはのほ  
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社  
神奈川県横浜市瀬谷区御本町9279-37  
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337  
http://www.yetian.com/kawara/  
毎月20日発行 第312号

サービス周到

M170 クールマックス先丸 黒 2足組  
M370 クールマックス5本指 黒 2足組  
マジ気に入ってますけど!



## 働くのばちゃん Vol. 312

勤務周到かあ社長は、どうも礼儀というか、言葉遣いや対応などを気にしますねかわら版の記事もそういうの多いですね俺やバイなあ

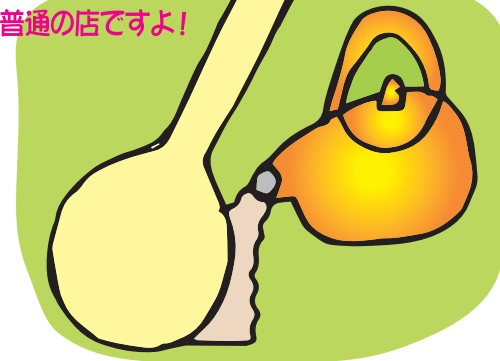
この間ウチの会社にみえた中小企業診断士の人にも、何となく褒められていましたね

確かに、言葉遣いはそうだけど、ちょっと本人の格好はマズくないかなあ昔はもつとちゃんとしてたと思ったけど

確かに歳を重ねる毎におかしくなって来た感じがするね。でもアシックスの展示会の格好で出勤されないだけ「ヨシ」とするしかないんじゃないですか?

中国は変わって来ました。先日、中国の人含めて何人かで大好きな火鍋を食べに行きました。外国人向けの店ではありません。日本人は我々くらいでした。決して高級なお店ではありません。まず最初に「おやつ」と思ったのが店内に案内してくれる女の子がニコニコしていたのです。もう、この時点で違います。席に座って横の椅子に荷物を置くと、サッと風呂敷みたいなヤツを掛けてくれました。食事をする時に、モノがはねて汚れない様にヤツです。注文する時もニコニコしながら細かな説明をしてくれます。もちろん返事もハッキリと大きな声で。

このシャモジみだいで、お湯がダシだかをはねない様にしていますよ! 普通の店ですよ!



ビックリしたのは注文を受けるのはiPadみたいなタブレットなのです。ニコニコしています。えっ、この店そんなに進んでいるの? 冷菜が来て、火鍋が来る前には不織布の前掛けを持ってきてくれました。その後も、ちょっとしたでも汚れたおしぼりは直ぐ替える、肉や野菜を入れるのに、やりにくそうにしていると、直ぐ気がついて手伝わしてくれます。そして、火鍋にお湯を注ぎたす時は周りにはねないように気をつけて、ヤカンの口を隠すシャモジみたいのを使います。日本のその辺りの店なんかよりよっぽどサービスがいいです。

店内は禁煙ですが、入り口付近の、あるスペースではタバコが吸えます。日本では一切タバコを吸わない「のばお」ですが、そちらのスペースにも顔を出してみました。(以前、娘にクサイと言われたので本当に日本では絶対吸いません)タバコを持ってテーブルに座ると直ぐに灰皿とお茶を持ってきてくれました。わざとなのか最初から灰皿は置いてないのです。聞いてみると、そこは待ち合いのスペースでもあり、子供が待っていたら、気に入ったオモチャを貸してくれるそうです。また、もし本人の希望があれば、待っている女の人にはマニキュアを塗ってくれるサービスもあるのだそうです。さて席に戻ってまた食べてると歌舞伎役者みたいな人が出て来て、クルクル踊りながら、一瞬で顔を(覆面) 何度も変えていきます。きつと覆面の下でもニコニコしてるはず。我々も含めお客様は大喜びです。するとあちでは、ソバをグルグル回して伸ばしています。後で聞いてみると、そういう人

を呼んで来て演出しているのではなく、そこで働く従業員が必死に練習して覚えるのだそうです。ウチの子供が小さい頃、好きだった「シズラー」の様に、向こうでは「ハッピーバースデー」を祝う店の人達の歌声が聞こえます。「・・・生日快了!」 いやいや参りました。もちろん、文化の違いですからこればかりは何とも言えません。一般的には飲食店でも服屋でも切符売り場でも、ふてくされた感じに見える所が多いです。「どんどん変わって来てるんだな」と思っていると、さっきの歌舞伎役者みたいな人が、また出てきました。覆面は取っています。完全にニコニコ顔で「一緒に写真撮ろう」と感じて。 「うん」、、、やっぱり商売か、、、それは、ちょうど女主人が我々のテーブルに来て、連れの中国人と「のばお」も混じってゴチャゴチャ話してる時だったので。女主人が「写真を撮ってあげる」と何度も言うので、その歌舞伎役者みたいな人と並んで、しょうがないから何枚か撮りました。「あつ、でもそれ貴方の携帯!」 「意味ないじゃん」

「我々の携帯じゃないのに写真を撮ってどうするんだらう」。そしたら最後にビックリ! 撮りまーす! ーカー! サン 日本人が珍しいのかなあ 何分もしないうちに、僕らの映ったポラロイドみたいな写真を持って来てくれたのです。写真の下には、お店の名前と、詳細の載った二次元バーコード。もちろんタダです。帰りにはアメをたくさん貰いました。ニコニコです。クウー! すごいですね。感動しました。中国に行ったら必ず行こう! だいたいにして美味しい。ちなみに「のばお」が中国語を喋れるような解釈と取れる文章ですが「喋れる、話せる」ではなく「通じる可能性がある」だけです。勘違いは、なされずに。